

連載：2021年医学部オープンキャンパスまとめ情報Vol. 13

3分の1が海外実習、グローバル教育に注力 東京女子医科大学

教育 2021年10月6日（水） 三宅幸一郎



医師を目指すご家庭において、医学部選びは大きな問題です。そこで来場型、オンライン型とさまざまに開催される2021年の医学部オープンキャンパス情報をまとめて発信していきます。今回は東京女子医科大学。前・後編に分けてお届けします。2021年のオープンキャンパスは、web型で開催。前編では、オープンキャンパスの概要や注目して欲しい点や医師親世代と変わった点を医学部長の石黒直子教授に伺いました。

東京女子医科大学

1900年に創立された東京女醫学校に起源を持ち、女性のみで医学教育を行う国内唯一の医学部です。2020年12月に創立120周年を迎えました。

<オープンキャンパス2021>

WEB型:開催日時:通年開催

※特設ページは[こちら](#)

個別相談会(オンライン)は10月16日開催(要予約、先着順)

大学理念からキャンパスライフまで丸わりのOC動画



—— オープンキャンパスの概要やプログラムについて教えてください。

以前は対面で行っていましたが、2020年度からはオープンキャンパス・大学説明会を Web(動画配信)で行っています。通年公開として受験生向け公式サイト上に「WEB OPEN CAMPUS」を設け、キャンパスマップ、新校舎紹介、医学部紹介、看護学部紹介、学生生活・部活動紹介、女子医大周辺マップを掲載しています。また、両学部紹介の中で、それぞれ大学説明会・個別相談会を紹介しており、2021年度の医学部個別相談会は、10月16日(土)にオンラインライブ(ZOOM使用)で行います。

動画では、学長ご挨拶に始まり、医学部長から大学の沿革、建学の精神と理念「至誠と愛」、教育の特色、卒業後の支援について、教務委員長からはカリキュラムについて、学生部長からは、学生生活支援、クラブ活動についての説明があります。2021年度版は、9月から順次配信する予定です。

個別相談会は、応募された受験生や保護者からの相談に対して、本学の学生会のメンバーと教員がZOOMで回答する形で開催します。教員が大学敷地内でホストとなり、学生会メンバーや受験生、保護者は自宅からご参加いただけます。

オープンキャンパスで実施していた「キャンパスツアー」は、アニメーションを用いた動画で校内を紹介しております。第1部は新校舎棟を学生に扮した女の子が学内を散策しながら、出会った先生たちにインタビューをし、施設等の説明をしてもらうというシナリオとなっています。第2部は実習施設でもある附属病院をはじめ、早稲田大学との連携研究施設である先端生命医科学研究所などを紹介しています。また、来場型のオープンキャンパスで感じていただいていた本学学生の雰囲気をもっと多く伝えられるようにと、学生を主役にした動画コンテンツの制作も予定しています。

—— 貴学のどのようなところをみてもらいたいですか？

まずは、海外交換留学プログラムです。文部科学省の海外留学支援制度に採択されており、女性医療人育成の特色あるプログラムとして、国内外で高い評価を受けています。本プログラムでは、1997年にイギリスのカーディフ大学と国際交流協定を結んで以降、年々協定校を拡大し、現在その数は世界10カ国・地域に16校を数え、これまで380人超の学生を協定校へ派遣するとともに、受入学生数も390人以上にのぼっています。

派遣留学は5年生の希望者を対象とし、留学先での病院実習は単位認定されています。留学する学生の数は、5年生全体の約3分の1に相当し、留学する学生の割合が大変高いのが本学医学部の特徴の一つとなっています。本プログラムを通して、日本と海外の医学教育、臨床修練、医療制度の違いを理解し、異文化理解を通して国際性を養い、将来グローバルな視野に立って活躍できる医師となることを取り組みの目標の一つとして掲げています。

また、オンラインでの留学セミナーを定期的で開催しており、今後はバーチャル空間を利用した新しい形の国際交流も他大学に先駆けて検討し、コロナ禍の中でも学生の留学マインドの涵養に積極的に取り組んでいます。

—— 医師親世代と比べて変わった点をおしえて下さい。

授業方法や国際化など、医学教育の将来を見据えた本学のカリキュラム改善は1990年代から始まっているので、卒業生の親御さんには変わったというよりも今なお理想の教育のために改革を継続していると思われるかも知れません(笑)。

アクティブラーニングとして1990年に日本で初めて導入した小グループ学修のテュートリアル教育の他、2010年にはグループとクラス全員で行うチームベースラーニング(team-based learning)を導入し、両者により学生自ら問題解決ができる能力の習得を目指しています。

変わった点は、これまで別々の敷地で学修をしていた医学部・看護学部学生が、2020年度から同じ校舎内で学修や実習を行うようになりました。今後さらなる充実を目指してカリキュラムの編成を行います。両学部のさらにスムーズな協働教育、リーダーシップ教育を実現し、両学部が力を合わせ、より良質なチーム医療を行い、指導的役割を果たすことのできる女性医療人の輩出に力を尽くしていきたいと考えています。

いかかでしたか。後編では、「ロールモデル実習」など、理想の女性医師のキャリア形成を手助けする東京女子医大の取り組みや手厚い学生サポートをご紹介します。

(文／三宅幸一郎)